

地理歴史科（世界史探究）学習指導案

- 1 履修単位数 ○単位
- 2 実施日時 令和6（2024）年 月 日（ ） 第 時限
- 3 学級 ○○ホームルーム（ 名）
- 4 使用教科書 高等学校 世界史探究（第一学習社）
- 5 単元名 イスラームの成立とイスラーム文明
- 6 単元設定の理由

<生徒観>

世界史学習に取り組む姿勢は意欲的で、真剣に教科担任の説明を聞き板書を書き写している。一方で、諸資料の読み取りや解釈などを行ったり、いくつかの歴史的事象を比較して考察することについては苦手とする生徒も多く、こうした諸資料の読解力や思考力を伸ばしていく必要がある。

<教材観>

本単元は、イスラームの成立と拡大、海域・内陸ネットワークの形成やムスリムの社会生活・都市・学問・文学などの文化について取り扱う。イスラーム世界の拡大の過程やそれとともに次第に形づくられていった諸制度や文化など、さまざまな歴史事象を取り上げることにより、多面的・多角的に考察する力を身につけることができる。また、ムスリムのウンマの特徴を諸資料から読み取り、ヨーロッパ・キリスト教社会の事例と比較することを通じて、イスラーム社会の特質を学ぶことができるため、当該時代のムスリムの生活を主体的に追究しようとする姿勢を身につけさせることができる単元である。

<指導観>

ムスリムの社会生活に関する諸資料を用いて、有用な情報を読み取ったりまとめたりする力を身につけさせたい。また、イスラーム世界の成立と拡大の過程に関する歴史的事象の考察を通じて、イスラーム世界の諸制度や文化の特徴を多面的・多角的に捉えさせたい。さらに、イスラーム社会とヨーロッパ・キリスト教社会とを比較することを通して、当時のイスラーム社会の特質を主体的に追究しようとする態度を身につけさせたい。

7 単元の目標

- (1)イスラーム世界の形成過程とその文化的特質を理解するとともに、イスラーム社会に関する諸資料を読み取り、他の事象と比較する技能を身につける。(知識及び技能)
- (2)イスラーム世界がどのように形成され、その宗教的側面と政治・文化的側面とがどのような関係をもっているかについて、多面的・多角的に考察する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- (3)イスラーム社会とヨーロッパ・キリスト教社会とを比較して考察することを通じて、イスラーム社会の特質を主体的に追究しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

単元の基軸となる問い

イスラーム社会とはどのような特質をもった社会だろうか。

8 単元の評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
・イスラーム世界の形成過程とその文化的特質を理解するとともに、イスラーム社会に関する諸資料を読み取り、他の事象と比較する技能を身につけている。	・イスラーム世界がどのように形成され、その宗教的側面と政治・文化的側面とがどのような関係をもっているかについて、多面的・多角的に考察している。	・イスラーム社会とヨーロッパ・キリスト教社会とを比較して考察することを通じて、イスラーム社会の特質を主体的に追究しようとしている。

9 指導と評価の計画 単元名 イスラームの成立とイスラーム文明 全3時間

第1時 イスラームの成立とウマイヤ朝・アッバース朝・・・【○知】

第2時 イスラームの社会・文化・・・【●知・○思】（本時）

第3時 海域・内陸ネットワークの形成とイスラーム文明・・・【●思・○態】

単元の指導計画（○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」）

時程	学習活動	評価の観点			評価規準等
		知	思	態	
第一時	【単元の基軸となる問い】 イスラーム社会とはどのような特質をもった社会だろうか。				
	【本時の問い】 ウンマとはどのような特徴をもった共同体だろうか。				
	・諸資料から、ムハンマドから正統カリフ時代、ウマイヤ朝、アッバース朝のウンマの特徴およびその変化を読み取り、年表にまとめる。	○			(評価資料) ワークシート、観察 ○ムハンマドから正統カリフ時代、ウマイヤ朝、アッバース朝のウンマの特徴およびその変化を整理し、理解している。
第二時	【本時の問い】 イスラームの社会・文化の特徴は何だろうか。				
★本時	・諸資料を活用して、六信五行を中心としたムスリムの信仰・生活について読み取りまとめる。 ・イスラームの社会・文化をヨーロッパ・キリスト教の社会・文化と比較して、考察する。	●	○		(評価資料) ワークシート、観察 Microsoft PowerPoint ●六信五行を中心としたムスリムの信仰・生活について、諸資料を読み取り、整理している。 ○イスラームの社会・文化をヨーロッパ・キリスト教の社会・文化と比較して、考察している。

第三時	【本時の問い】 イスラームの海域・内陸ネットワークの形成は、周辺地域にどのような変化をもたらしただろうか。			
	<ul style="list-style-type: none"> イスラーム世界の拡大に伴って形成された海域・内陸ネットワークの特徴を諸資料から読み取りまとめて、考察する。 イスラーム世界の特質を自分の言葉で表現し、今後の学習に見通しをもつ。 	●	○	(評価資料) ワークシート、観察 ●諸資料をもとに、イスラーム世界の拡大に伴って形成された海域・内陸ネットワークの特徴をまとめて考察している。 ○イスラーム世界の特質を自分の言葉で表現し、今後の学習に見通しをもって臨もうとしている。

10 本時の指導目標

イスラームの社会・文化の特徴をヨーロッパ・キリスト教の社会・文化と比較し、諸資料を活用して効果的にまとめ、共通点や相違点などに着目して考察することを通じて、イスラームの社会・文化の特徴を理解する。

11 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 10分	【単元の基軸となる問い】 イスラーム社会とはどのような特質をもった社会だろうか。			
	【本時の問い】 イスラームの社会・文化の特徴は何だろうか。			
展開① 15分	イスラーム社会の結婚に関する史料から、社会・文化の特徴に関心をもつ。	歴史的背景や意味について着目させる。		
展開① 15分	六信五行についてのハデイスを読み取り、まとめる。	史料のどの部分が六信五行に該当するかに着目させる。	六信五行を中心としたムスリムの信仰・生活について、諸資料を読み取り、整理している。【知】	ワークシート 観察
展開② 20分	イスラームの社会・文化をヨーロッパ・キリスト教の社会・文化と比較して、考察する。	共通点と相違点に着目させる。	イスラームの社会・文化をヨーロッパ・キリスト教の社会・文化と比較して、考察している。【思】	ワークシート 観察 Microsoft PowerPoint

まとめ 5分	イスラームの社会・文化の特徴について、自分の言葉で説明する。	諸地域世界の社会・文化の多様性に気づかせる。		
-----------	--------------------------------	------------------------	--	--

12 評価の目安と目標実現のための手立て

【知識・技能】

A	十分満足できる	諸資料をもとに、六信五行を中心としたムスリムの信仰・生活について、具体的内容まで整理してまとめている。
B	おおむね満足できる	諸資料をもとに、六信五行を中心としたムスリムの信仰・生活についてまとめている。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・ わからない語句を確認し、個別に説明をする。 ・ I C Tやグループワークを活用し、他者の知識に触れる機会をつくることで、理解の糸口がつかめるよう支援する。

【思考・判断・表現】

A	十分満足できる	共通点や相違点に着目して、イスラームの社会・文化をヨーロッパ・キリスト教の社会・文化と比較して、考察している。
B	おおむね満足できる	イスラームの社会・文化をヨーロッパ・キリスト教の社会・文化と比較して、考察している。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・ わからない語句を確認し、個別に説明をする。 ・ I C Tやグループワークを活用し、他者の意見に触れる機会をつくることで、考察の糸口がつかめるよう支援する。